

卒業生によるボランティア活動グループ「わ」会報

情報ギャラリー

第41号

情報ギャラリー第41号

発行日 2008年1月29日

編集 グループ「わ」広報部

発行者 郷 肥三

発行元 NPO法人社会還元センター
グループ「わ」

TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103

Eメール group-wa@wa-net.jp

2008年の年頭に想う

理事長 郷 肥三



新しい年を迎え、グループ「わ」の会員の皆様のご活躍と健康を祈念し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃はグループ「わ」の活動と運営にご理解とご協力を頂き、役員を代表して深く感謝申し上げます。昨年は、グループ「わ」設立10周年記念事業を9月に開催し、矢田神戸市長をはじめ多数のご来賓をお迎えして挙行できましたことは誠に喜ばしいことであります。

新年に当り考えてみますと、グループ「わ」に期待されていることには誠に大きなものがあります。

一つには、地球環境の問題があります。温暖化や異常気象は今や世界的な大きなテーマとなり、特にヨーロッパでは一般家庭でも、ムダをなくしエネルギー消費を最小限にする努力が行われています。日本では企業でのCO₂排出抑制が始まりましたが、家庭での努力はヨーロッパに比べ非常に遅れています。「もったいない」の言葉が身についている私達の世代が若い人達や子供達に、ムダをなくそう！異常気象を防ごう！と呼びかけようではありませんか。

二つには、子供の教育問題です。自己中心的で我慢することも、努力することも身につかないまま育ち、自分が気にいらなければ相手を攻撃する若者が増えました。相手を思いやり共に生きる地域社会を知っている私達の世代が、学校

では教えられないことや昔ながらの日本の心を子供達に伝えねばなりません。その他にも、日常生活の中で自分ひとりでは生きてゆけないこと、思いやりの心を取り戻すことが求められているのではないのでしょうか。そしてまたこれらの活動も、神戸市シルバーカレッジを卒業した熟年世代の人達が生きがいを感じながら、思いやりの心を持って地域で活動することによって、市民の皆様の心にひびくことでしょう。

昨年の経過報告と今後の予定について、下記に述べます。

こうべ環境未来館

昨年3月末公募によって、企画運営業務の委託を引き続いて受注し、現在スタッフ一同鋭意活動中であります。本年は特に注目される事業であります。それは5月にサミット(主要国首脳会議)の環境大臣会議が神戸市で行われ、それにともなって各種の環境関連のイベントが行われます。グループ「わ」においても環境未来館および環境部会をはじめとして、各会員の皆様のご協力をお願いします。

電話相談委託事業

本業務は2種類あります。一つは平成17年7月から実施しています神戸市子ども家庭センターでの「児童虐待夜間休日相談ダイヤル」です。二つ目は平成19年3月から実施しています神戸市教育委員会の「いじめホットライン」電話教育相談であります。

いずれも30数名の登録メンバーが交替で執務しており、現在のところ大きなトラブルもなく順調に推移しております。

須磨一ノ谷プラザの管理運営

昨年4月から旧勤労会館海の家を名称変更し、一部リニューアル後に貸室業務を行ってきました。須磨区、長田区などの婦人会、自治会、各種

サークルなどのグループの方々に利用して頂いておりますが、稼働率が20%程度のため採算割れの状況になっております。今後引き続いて運営するためには何らかの対策が必要であることを須磨区に申し入れ、協力を求めているところです。

パソコン講習会

シルバーカレッジのご好意により、パソコン利用の要請を受けて、グループ「わ」の中にパソコン講習の会を発足させ、わの会員が講師を受け持って講習会を実施しております。受講生はカレッジ在校生および一般高齢者の方々です。内容は各種講座に分かれており、延総時間数は4800時間に達しております。平成20年度も引続き実施する予定ですので、希望する方がおられましたらご紹介してください。

(財)長寿社会開発センター助成事業

事業内容は3年毎に更新していますが、平成19年度は「伝承文化、環境保全、健康増進」をテーマとして活動しております。年間18のイベントを開催し親子づれや熟年の人達に参加して頂き、楽しみながら学んでもらっています。これからの行事は、2月17日「世界の保存食を食べよう」、3月9日「炭焼き塾とケナフ紙すき塾」「3月11日」ペタンク大会などを予定しています。平成20年度も応募して事業を継続してゆく所存であります。

フルーツフラワーパークとの協働事業

年間5~6件のイベントをフルーツフラワーパークと協力して行っております。

例えば七夕祭り、昔あそび、野鳥観察など、親子づれなどに好評で市民の皆様と心をかよわす素晴らしい催しであります。その他にも観光シ
(次ページに続く)

(前頁から続く)

ーズンの土、日、祝日には観光ガイドボランティアを行っています。

業務刷新委員会の活動

会員数が1000名を超え、事業内容も拡大する傾向にあり、本部組織を効率的に運用する必要性が出てきましたので、11名の委員を選出して、業務刷新委員会を発足させました。昨年9月から鋭意検討を行い、改善方針のまとまった項目から実施に移しています。本年3月を目標として、本部組織等についても改革がなされる予定です。

第5回定期総会について

本年度の定期総会は5月27日(火)を予定しております。会員の皆様におかれましては、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶の終わりにあたり、会員の皆様をはじめご家族の方々が健やかに充実した一年をお過ごしになられますことをお祈りしています。

グループわ新入会員募集説明会 実施(今年卒業12期生対象)

シルバーカレッジ事務局のご好意で今春卒業の3年生を対象に、1月15日(火)午前、グループわ及び同窓会の説明会が実施されました。更にグループわについてよく理解して頂くため、15日午後ふれあいホールに相談コーナーを設けて積極的に広報活動を行いました。

郷理事長挨拶要旨

グループ学習の発表を済ませたコースの方とまだのコースの方とは多少現在の心境は異なると思いますが、3年間多くの友達と学んで、またクラブ活動に精出してこられた皆さん方は充実感に満ち溢れておられると思います。卒業後は、次の学び舎へ行かれる方、引き続き地域社会で活動される方も多いと思います。

グループわは昨年9月に10周年を迎え、ボランティア活動標語『とどけたいあなたのもとへわ

の愛を』をモットーに活動し市民の皆様から感謝されるグループを目指しております。皆さん人生のいきがいを考えてください。ボランティア精神は何だと思われませんか。私は無償の愛だと思います。多くの皆さんにも若いときに子育ての経験をされて、無意識のうちに無償の愛を実体験されてこられたことと思います。

グループわはボランティアを行なう団体ですが、自分が楽しみながら行なう、いやいや行なうのではなく、自分に適したボランティアを行なう方向で取組んでおります。一度入会してチャレンジして見て下さい。



パワーポイントによる説明会

続いて加藤副理事長からパワーポイントを使ってグループわの組織、活動内容を説明しました。そのあと昼休みと放課後に本部、各区会、各部会が説明コーナーを設けそれぞれの活動振りをPRしました。

『和風作り』に参加して 東灘区/松平麻也・智子・文乃・和郁

こどもエコクラブ「こうべにここクラブ」を主宰している松平と申します。今回は子供たちにお正月らしい活動をと考え、3家族、9名でこのイベントに参加させていただきました。しかし考えてみると、自然の竹を使い、紙を使って作る風作りは、エコの学習そのものだと作りながら気づきました。

大人も作らせていただけたとは思っていませんでした。少し嬉しくもあり、また「子供たちに負けるものか」と気合を入れて風作りをスタートしました。すいすいと描き始める子供たちの横でなかなかデザイン

が思いつかなかったのですが、当日少し風邪気味だったこともあり、またクラブのみんなの健康を願い「元気」という文字をデザインすることにしました。子供たちはそれぞれに、干支のねずみや、ムシキングや、アンパンマンなど楽しい絵を一生懸命描いていました。糊付けは難しいところもありましたが、子供たちにグループ“わ”の方がていねいに説明して下さり、みんな無事に完成させることができました。

昼食後の思いがけない竹とんぼ飛ばしが、子供たちには楽しかったようです。飛ばし方を伝授いただき夢中で競争していました。電子ゲームに夢中の子供たちですが、単純な竹とんぼにも魅力を感じるの不思議です。単純が一番いいのかもしれない。

海岸で夢中で風を揚げたため、翌日腕が痛くなりました(笑)が、とても楽しい一日でした。須磨では揚がらなかった風は、我が家の壁に揚がっています。

エコの考え方を自然に備えた昔の遊びは私たちの先祖、昔の日本人の方の知恵が詰まっています。かつては自然にそれが次世代へと伝わったのでしょうか。しかし、今私たち父親、母親世代が、このようなイベントで先人から意識的に学び、伝える努力をしなければ消えて行ってしまうような気がします。それはもったいない!こども達の笑顔を見ながらそう強く感じた一日でした。グループ“わ”のみなさん、ありがとうございました。

ー参加者からの礼状ー

西区玉津町高津橋 小澤治一/志峰
「和風作り」に参加しました。とても楽しく作ることが出来て嬉しかったです。作るのがこんなに難しいと思っていませんでした。挙がらなかったのが少し残念でした。

作品は子ども部屋の壁に、挙がっているように貼りました。有難うございました。

子どもたちの学習支援活動

『戦争と人々の暮らしは?』『日本の伝統文化を知ろう』

星和台小学校 6年社会科授業

「戦争と平和を考える会」に参加して

福4-文 濱岡吉孝

日時 平成19年11月15日

第3~5校時

場所 星和台小学校 多目的室

対象 6年生70人(35人2クラス)

主題 戦争と平和を考える

【授業の内容と流れ】

冒頭の挨拶

石川 凱裕(福7) 5分

体験談を通して戦争の悲惨さと平和の大切さを語り継ぐ授業の狙いを説明。

戦争について

濱岡 吉孝(福4) 40分

- 太平洋戦争を中心に戦争の原因、経過と結果を簡潔にまとめ語った。
- 続いて、近代戦は軍人だけの戦闘に止まらず、一般国民を巻き込む。神戸では1945年3月17日、アメリカ空軍B29,64機による焼夷弾無差別爆撃があった。この空襲で市民約2700人が焼殺、市街の西半分が消滅させられ、市民は恐怖のどん底に突き落とされた。

この体験を記録写真・絵を交え語った。

学童疎開について

吉田美音子(福12) 20分

- 空襲の災害から次世代の命を守るため、市内23700人の学童が兵庫・岡山・鳥取・島根県のお寺や親類の家に終戦まで長い間預けられた。
- 空襲の恐ろしさから逃れたことは良かったが、強いホームシックに罹ったこと。神戸に残った家族のことが心配だったこと。農家の手伝いが多く勉強が出来なかったこと。何よりも辛かったのは食べ物不足し、毎日空腹でイナゴや雑草を食べたことなどを疎開を中心に具体的

に話した。

平和の大切さについて

内田たみ子(福10) 15分

- 戦争の苦い経験から日本国憲法を制定し平和立国を内外に宣言。軍需生産から平和産業に転換、日本人の優れた知恵と勤勉さで敗戦のどん底から立ち直り、平和外交をベースに貿易を盛んにし世界有数の経済大国になり、私たちが豊かに暮らしていること。日本は世界でトップクラスの長寿国であるが、これは国民が戦争で早世しないことが第一の原因になっていること。等々平和のありがたさを再認識させた。

そして、与謝野晶子の「君死に給うことなかれ」の詩で命の大切さを訴え締め括った。

以上4講師が平易な言葉でパワーポイント(PP)を活用して語った。
(PP担当 吉田貞二 福10)



学童疎開を人形で語る

質疑応答

司会 竹田正弘(福6) 15分

Q戦争に負けた時どんな気持ちだったか?

A死にもの狂いでアメリカと戦ってきたので、敗戦は大変悔しかった。反面殺しあう戦争が終わってほっとした気がし複雑な気持ちだった。

Q戦争に反対する人はいなかったのか?

A一部に反対する人がいたが、非国民といって捕えられ終戦まで監獄に入れられていた。

Qラジオや新聞で日本がいつも勝っていると報道されていたそうだが、どう思っていたか?

A日本本土が戦場になり、毎日空襲されるようになり、それを信用しなくなった。

【講話を聞いた児童の感想】礼状抜粋

- シルバーカレッジの皆さんありがとうございました。本当に体験した人が話してくれたので教科書や書物を読むより説得力があり心にジンと感じた。
 - 神戸大空襲の写真(市街の消滅状態や黒こげ・窒息死体などの記録写真)や絵(神戸空襲体験画家のもの)を見せてもらったが、戦争のむごさがよく判った。その写真や絵を説明する時、講師の濱岡さんは悲しそうだった。空襲で亡くした友達のこと、焼けてなくなった家のことを思い出したのだと思う。
 - 学童疎開の話の中で父母の元を遠く離れて暮らし、強いホームシックになったこと。空襲のある神戸にいる家族が心配だったこと。戦中の子は勤労働員などで働かされ勉強が出来なかったこと。食料が不足していつもお腹を空かせ、空腹を補うためイナゴや雑草を食べたことなど沢山聞いた。辛かったと思う。そんなことのない平和な今ありがたい。
 - 最後の話し合いをした時(質疑応答の時)戦争に反対する人は非国民といわれ、牢屋に入れられたと教えてもらった。大変驚いた。自分の考えが自由にいえる現在がいい。
 - 僕はいつ死ぬか判らないような不安を経験したことはないが、戦争なんて少しもいいことはない。戦中に比べ命を大切にす平和な今は素晴らしい。平和を保たないといけないと思った。
- (注)以上の感想は児童の礼状の中か
(次ページに続く)

花谷小学校 6年生 体験学習

『ふれあおう日本の心(伝統文化を知ろう)』

絵手紙・折り紙・着物着付け・銭太鼓

「絵手紙」の指導に参加して
美8-文 松本治司

素晴らしい日本の伝統文化をもう一度見直して、多様な文化に対する理解を深めていこうという運動が全国に広がっています。その日本文化は国内だけでなく世界でも理解され、広く浸透して、毎年日本で開催される日本文化の集いには多くの外国人が参加するようになったということです。教育界においても、伝統文化のカリキュラムを組んで指導に当たっている学校が増えています。そんな時須磨区の花谷小学校で日本文化講座があるので指導員としての参加するようにとの話があり、約2ヶ月の準備期間があつて11月19・20日の2日間授業を受け持った。絵を描くのが苦にはならなかったが、日本文化の指導という事をを考え

(前頁から続く)

ら代表的なものを抜粋し、オムニバス形式で纏めました。()内は筆者の補足語句。

【学習支援活動を終えて】

前記の児童たちの感想文から、児童たちの感性の豊かさ、問題点を的確に把握する力の強さが察せられ頼もしく思った。

そして、授業の目的である「戦争の悲惨さと平和の大切さ」ということを6年生として十分に会得してくれたと判断する。「今の子は・・・」とよく批判されるが決してそうではない。むしろ多彩な能力を秘めている。これらを大人が手を尽くして引き出し育てることが大切であると思う。

これからも、戦争体験談(6年社会科)、昔の暮らし(3年社会科)、伝承的むかし遊び(1年生活)等の教科・分野でシルバーパーを生かし小学校の学習を支援したい。

ると多少緊張した。授業当日、教室に入ると6年生24名が礼儀正しい挨拶で私を迎えてくれた。自己紹介のあと、絵手紙について準備していたプリントを配り、簡単な説明をしてから実習に入った。

見本として描いてきた絵手紙40枚を担当の先生が黒板に貼ってくれた。その時、生徒たちがワーという歓声を挙げてくれた。嬉しかったし準備してきた甲斐があったと思った。授業では生徒たちとの話も弾み楽しい授業となった。見ると、男性の顔を描いている女子生徒が二人いた。「何描いているの?」と質問すると、暫くしてから私にその絵葉書をくれた。「松本先生ありがとう・・・と描いてあった。私の宝物として大切にしたいと思う。

2日目は別クラスとなったが、ワイワイ言いながらも楽しい授業で、一人で3枚描いて貰ったが、皆さん上手なのは驚いた。



絵手紙の制作指導

すべての授業が終わり、最後の挨拶をしようとしたら、一人の女子生徒が立ち上がり、はっきりした口調で素晴らしい御礼の挨拶をしてくれた。感動した。そして胸が熱くなった。出来た生徒たちの絵は、暫くの間学校の掲示板に貼るようです。「絵手紙」には、感動があり涙がある。そして郷愁がある。

絵に添える言葉に暖かい心がある。子ども達にこんな日本の温かい伝統文化を理解してもらえば有難いと思う。

初参加の「折り紙」授業

生3-文 榎田みどり

学校側との事前打ち合わせの場で「児童の中には鶴も折れない子もいます。何でもよろしいです。」とのことで、私の頭の中では、先ず鶴を一つ、その他は季節にあったものをも決めました。そして教材として紙の歴史、折り紙の歴史の話を少し書き、その中に江戸時代の折図を入れておりましたところ、先生から「今、ちょうど江戸時代の勉強をしているところです。もう少しよく解るように大きくコピーして欲しい、」と要望が膨らんできました。

何よりも実物を見て頂く事を考え、今回は鶴バージョンを30種類以上作り、そして江戸時代のお雛様の再現作品を作って、教室に飾り見て頂きました。授業の制作作品は『クリスマスリース』リースの中にベルとリボン、サンタさんを配し、そして光の具合で様々な色の光を放つ紙を様々な形に切って貼り、きれいな作品が出来上がりました。

制作中は真剣に取り組みながらも「出来た!」「きれい!」と楽しそうな声が飛び交いました。展示を見てこれも見たい、あれも見たいこれを教えてとの声もかかりましたが、何分時間がありません。時間の経つのがとても早く感じられました。生徒さんたちは、とても素直でそれでいて、時には自分の思いを主張するとてもよい生徒さんでした。「あれも見たい、」「これも見たい」との声にこたえてあげられなかったのが心残りでも少し残念でした。このたびはとてもよい体験と勉強をさせていただきました。有難うございました。



折り紙の実習

こども達と着付けで交流
福11-文 増金スミ子

花谷小学校での、子どもの着付け講師依頼を受けた時は、「どうしたものかー」とも思ったものですが、禪作りから始めて、小物類、着物の用意、また、着付けの説明用の小冊子の作成と、小学校での、2日間の授業を考えながら準備を進めている過程でも、自分自身が一番楽しんでいるような気がいたしました。

いよいよ本番を迎え、初めての体験に緊張気味の私に、子ども達が若さと明るさのエネルギーを以って、後押ししてくれながらの着付けの授業でした。着方については、準備した冊子を基に説明し、各自着物を着て貰い、半巾帯で蝶結びの練習をして貰いました。



初めて帯を結ぶ体験

二日間で男子8名を含む計32名の子ども達が着物をきて、「自分達の姿を先生に見て貰ってもいいですか？」満面の笑みを浮かべて、教室を出ていきました。数分後に帰って来たときには、殆どの子供の着物姿は襟、裾がはだけたものになっていました。活発な行動には、不向きなところもある着物ですが、着てみるとそれなりに、「しとやかにしようー。」というような気になる利点もあります。これを機に、日本の民族衣装でもあるので着物を受け継いで、年一、二回位は、着て欲しいものだと思います。私にとって二日間は、新鮮であり、新しい体験でした。

感動と感激に感謝させて貰いひと時でした。
ありがとうございました。

『銭太鼓』実技指導に参加
国9-文 松矢征男

花谷小学校6年生の体験学習「ふれあおう！日本の心」で私達、楽遊クラブ銀雅も他のクラブの皆さんと共に参加しました。

2日間にわたり午前中の授業で一日目が15名、二日目が16名計31名の皆さんに伝統民俗芸能である銭太鼓の指導をしました。

参加した子ども達は、それぞれ事前に銭太鼓の歴史などをインターネットで調べてきており、解説もそこそこに実技指導に入りました。私達は他で児童を対象に演技指導してわかってはいたのですが、わずか1時間半の指導で2曲のえんぎをマスターしたのは驚きと喜びで感激し、子ども達の無限の可能性をうらやましくおもったと思います。私達も負けず今後とも施設訪問活動や各種のイベントに参加することで広くこの民俗芸能を伝えていこうと思います。今回の行事に参加させていただきましたこと学校関係者の皆様方また“わ”の学習支援の方々へ厚くお礼を申し上げます。



銭太鼓を握って四苦八苦

なおこの講座には、書道、生け花、詩吟の3講座もありました。



書道教室

灘 区 会

『わ 灘区会だより』
灘区会長(国8) 福田望

“わ”の会員の皆さま、わ灘区会員の皆さま、明けましておめでとうございます。年が増える正月に何も目出度い事などないんですが、それでも昔から盆と正月とって一年の節目を越える感懐を覚えるものです。

さて、灘区会員も年々増加して只今55名(男35、女20)元気で活動を展開中です。

平成20年のシルバーカレッジ卒業生第12回生をグループわに入って貰うキャンペーンを1月15日ふれあいホールで本部、各5部と9区の世話役が机を並べて入会勧誘を実施。ところが仕掛けが悪いのか、まきえさがなかったせいか(三宮駅のようにティッシュを配るとか・・・)網を張ったけど一向に在校生が寄ってこない、時機が早すぎたのか不調だった。まだ充分時間があります。あの手この手で入会活動を展開しますので、この記事を読まれた方は是非未入会の方に肩たたきをお願いします。

会員みんなで、ワーワーと楽しいシルバー余生をともに送りませんか？



生け花(剣山ってなに?)



詩吟に音符?

東灘区会

行事を写真で報告
音 5-文 藤井潤子

毎年秋の恒例研修バス旅行
晴天の下、10月16日東灘担当の増金理事も加わって、総勢34名が参加した。東灘区役所を9時出発。ポートアイランドの田崎真珠(株)本社で真珠についての研修を受け、一路西へ。赤穂城址、大石神社で記念撮影し、坂越の古い街並みを散策して帰神の途に。楽しい一日であった。



大石神社参拝

遊喜幼稚園での餅つき大会
食育ボランティアでお手伝いしているご縁で餅つき大会に会員12名が参加した。大きな臼の周りを100名の園児達が囲み、見守る中わのオジサン達も昔取った杵柄、なかなかの腕前で力強く杵を振り下ろす。園児たちも小さな杵で2~5回搗く、どの顔も嬉しそう。早速搗きたてのお餅を美味しそうに口にしていた。日本古来の行事は食育を通じて子ども達に引き継いで生きたいものです。和やかな一日でした。



餅つき大会

グループわ 創立10周年ボランティア活動標語
とどけたい あなたのもとへ わの愛を
(中沢千枝子 作)

ボランティアの表彰を受ける
特別養護老人ホーム「サンライフ魚崎」から歌の友愛訪問で表彰を受けた。ホームの皆さんと楽しく一緒に童謡・唱歌・懐メロなどを歌って5年目の節目での表彰はとても嬉しかった。これからも少しでも皆さんに役立つよう仲間と一緒に歌い続けたい。西村笑子さんも書道指導でボランティア表彰を受けられた。



表彰式賞状授与



“ガイドボランティアを募集しています”

(土、日、祝日の活動です。)
フルーツフラワーパーク園内ガイドをしませんか?

フルーツフラワーパークへ来園する御客様とおもてなしの心で接し、喜んで貰えた時などやりがいを感じる楽しいボランティアです。

有馬観光ガイドボランティアをしませんか?

有馬温泉に来る観光客へ日帰り入浴の案内、観光場所・コースの紹介をします。

詳しくは わ事務局にお問い合わせください。

(078-743-8101) 橋野

北区会

「へ音記号」グループ活動状況
代表:(国-6)黒田 宏

昨年、真星病院からの依頼で入院患者及びデイケアで来院される方を対象に、月1回1時間程度のボランティア活動依頼を受け、活動仲間を集い、「へ音記号」グループを立ち上げました。

その活動内容は対象者の皆さんも参加できるカラオケ教室的なものと手品・男声カルテット・フラダンス・南京玉簾等聴いて、見て、楽しんでもらう内容のものを組合せた活動を実施しています。当初カラオケ教室は遠慮がちな参加状況でしたが回を重ねるごとに雰囲気もうちとけて、皆さん元気よく歌うようになり、手をつたり、声に出しての挨拶で意気投合の活動成果が得られる様になりました。現在会員8名です。



手品の妙技披露

「花山梅林会」の活動状況
会長:(園10)塚本桂三

花山梅林会の最近の活動状況をお知らせします。本活動グループが発足して早9ヶ月が経ち、参加会員数も皆様のご協力で現在40名(目標50名)となりました。既存の梅林は剪定や下草刈などの初期手入れは終了して、現在は新しい梅林候補地として東斜面で既存雑木林の伐採と下草刈を行いながら1.2段目はほぼ終了し、3段目を12月度より着手した状況です。雑木林の大木伐採には一苦労がありますが幸いにも環境部会所属の「里
(次ページに続く)

長田区会

新年の抱負

長田区会長 (美-8)松本治司

平成19年は、グループわ設立10周年記念事業に明け暮れた一年でしたが、記念日の9月1日には大勢のご参加を得て成功裏に終了しました。そして新たに平成20年を迎えてまた新しいスタートを切りました。各部会・各地区会とも新たなビジョンをもって新年を迎えた事と思います。

振り返って考えますと、長田区会も昨年は同じく新しい夢をもって1年をスタートしたように思います。しかしどれだけの実績を残せたか・・・残念ながら自慢出来るような活動は出来なかった。

まず、2ヶ月に1回実施している区会への出席率が依然として低調なこと、また同じく皆さんが参加するボランティア活動にも、依然として参加者が少ないことなどは昨年も改善する事は出来なかった。長田区会については参加が容易なように、会場を長田商店街の中心へ変更しが、参加者メンバーは何時も同じで、ボランティア活動などは逆に参加者が減少する結果となった。長田区会は残念ながら、会の結成以来、他地区会のように組織的なボランティア活動は出来ていませんでした。しかし、個人的に、またKSCのボランティア活動をそのまま継承している人達が大勢居ります。そんな人達は、長田区会として活動していなくとも「私達は勝手にボランティア活動をしています。」と言う事になりますが、今後の会の運営のためにも組織への参加意識をもって活動して欲しいと思っています。長田区会の会則も制定しました。新年度の役員組織の変更も予定しています。今年は会員のボランティア活動の実態把握と今後の予定などをお聞きしながら、会の運営を考えていきたいと思っています。

(前頁からつづく)
山クラブ」の技能優秀な皆さんの率先した指導と支援で当初の目的通りに活動成果が現れています。愈々平成20年1月からは梅苗木を植栽する場所の測量設定と穴掘りや堆肥の下準備作業等に着手予定です。予定通りに進めば3~4月初旬には苗木の植栽計画実施の運びとなります。将来は神戸一の梅林の名所となることを目指して頑張っております。

花山梅林会は北区会の活動ではありませんが北区に限らず、他区の皆様も興味半分でも結構ですので一度、活動場所に来て、見てください。他区の方にも興味を持ってもらって、神戸のためにも共同作業活動は如何ですか？是非参加申込みください。お待ちしております。

お問い合わせ先

塚本桂三(園10)(078-591-6435)

北区会に属する活動グループには「へ音記号」「花山梅林会」のほかに次のグループもあります。
神港園グループ(代表;淡路忠重)
神港園しあわせの村の入所者に月3~4回の入浴後の身辺介助あじさいグループ(代表;吉田正三)
シルバースティあじさい入所者の入浴後の身辺介助や体操・歌・俳句・書道などの指導を月8~10日の活動をしています。



花山梅林下草刈り整地

季節の草花

オオイヌノフグリ

生8 - 文 久保 知彦

ゴマノハグサ科の越年草。まだ寒く枯れ草の多い路傍にコバルトブルーの可憐な花が咲く。この花を見ると春の訪れを感じる。

小さい花だが、よく見ると花弁に大小があり、濃いり色と白っぽいものからなる四弁の花びらが見られる。花は朝日を受けて開き夕方に閉じる。摘みとろうとすると、ぼろりと散ってしまう。

ヨーロッパ原産の帰化植物で、明治のころ渡来した。在来種の内ヌノフグリは、繁殖力が弱いので駆逐されてしまっている。

瑠璃唐草・天人唐草・星の瞳という別名もあるのだが、どうしてこんな名前がついたのだろう。

フグリとは陰囊のことで、実の形が雄犬のそれに似ているからこの名がついた。このあたりでは、タチイヌノフグリも多くみられる。

茎は直立し、葉は小さくて葉柄がなく、花は小さく花柄はないので区別できる。

「いぬふぐり 星のまたたく 如くなり」
高浜虚子



オオイヌノフグリ

タチイヌノフグリ

須磨区会

『老人アセスメント演習』の
ボランティアに参加して
福 6 - 須 佐々信義

はじめにー

平成 1 9 年の夏、7 月 3 日と 1 0 日の 2 日に亘り、須磨友が丘にある神戸大学医学部の看護学専攻の 3 回生を対象にした「老人アセスメント演習」の授業に老人役として“わ”のメンバー 6 名の一人として参加する機会に恵まれた。

この活動はグループわ須磨区会が 6 年間続けている奉仕活動の一つであって、今回の演習参加者は我々も含め、すべて須磨区の社協に登録されているボランティアの人たちで構成されていた。

演習の主旨および内容

担当教官から「授業の狙いは老人世代と生活体験や交流の乏しい学生に対し、この体験学習を通して医療人としての望ましい態度を涵養することにある。これまでの実績からこの演習を重要な柱と位置づけている。」との説明あった。

- 1) 具体的には演習では私達ボランティア個々の「ありのままの日常生活の様子」「これまでの体験や現在の心身の状態」また「老化を自覚する身体的な変化」等について、学生と対面で会話を通し感想や意見を率直に伝えることが求められた。
- 2) あらかじめ決められた 4 つの教室に分散し配置につく。対話時間は、一人当たり 3 0 分で休憩時間として 10 分～15 分が定められていた。1 日に 2 名の学生が割振られ、小生の場合、要領の拙さで全員に対して予定時間をオーバーし休憩時間もほとんど使い切る羽目となった。

驚きの連続

驚きの始まりは初日から起こった。定刻の 30 分前であったが、2

名の先輩と 3 人で学校の門を入ると校舎入口付近には、今日の演習をする学生がすでに待ち構えていて、個人名入りのプラカードを掲げ笑顔で歓迎を受けたのが始まりである。演習に入っても驚きは続くのである。小生は 2 日間で 5 名(1 日目 2 名、2 日目 3 名)を担当した。彼女等の出身地が長野、京都府、奈良各 1 名、兵庫県 2 名で県外の学生の多いことも予想外であり小さな驚きであった。さらに若干の強弱が見られるものの、5 名すべてに共通して言えることに、言葉使い、態度も礼儀正しく真剣さが伺えたこと、加えて自分が目指す職業が担うべき使命をしっかりと見据えた言動にしばしば接し、またまた驚きが増して、時には感動すら覚えたことを忘れることが出来ない。

演習を終えてー

今年から始まった医療・看護保険制度の改悪のひどさには、我々高齢者は強い怒りと憤りを感じながらも、その無力感に打ちのめされたままの現実がある。今度の演習に参加して看護の現場には命を託するに十分な若者が育っている姿に触れ、一途の光明を見た思いがある。このことは小生にとってこれまで胸のうちにあったモヤモヤした気分を一気に吹き飛ばしてくれるエネルギーとなり何よりの

成果であった。これまでは医療問題に触れる場合、常に患者側に足を置いた価値判断が多かったが、これからは医療現場での仕組み、環境の変化にも注意深く関心を持ち続け、彼らの職場環境を守ることが何よりも肝要であり、これこそが我々に課せられた責務であることを学ぶ演習であった。今回の体験では「気力と勇気」を合わせてもらう結果となり喜びを感じている。最後に今回かかわった関係者の皆さまに感謝の気持ちを込めて『有難う』の言葉を以って終わりとします。

ニュースポーツグループ Wing の
月例練習のご案内

ニュースポーツグループ Wing ではグランドゴルフ、パタンク、ローンボールズ、スカイクロスの 4 種目を月 2 回の予定で、みんなで楽しんでいます。毎月案内メールを配信しますので入会の上、一緒に楽しみましょう。

ご入会の申し込み先は、いきがい部会(9 9 4 - 5 6 3 6 坂本) または、わ事務局(7 4 3 - 8 1 0 1)

第 1 回市民パタンク大会開催

3 月 1 1 日にグループ わ 主催の第 1 回市民パタンク大会を行ないます。一般市民の方を 2 人 1 組で 3 2 組を募集しますので、和事務局にお申し込みください。



西 区 会

『ワグ・ビレッジ・グループホーム』で ダンス指導

生1-文 児玉 浄

平成16年5月より、エルダービレッジ・グループホームへ、また平成17年6月よりグループホーム「花の風」へ社交ダンスの指導に行っております。名目は指導となっていますが、最初から「一緒にダンスをして遊びましょう」ということで始めました。行ってみると社交ダンスに興味をもった女性の入居者が数名おられ、職員もいっしょに月1回2時間程度、7~8人くらいで賑やかにダンスを一緒に踊っております。お年寄りの中には障害のある方もあり、とても指導するような状況ではありません。最初は一般的なダンス音楽で踊りましたが、皆ののりが悪く、現在は入居者になじみのある歌謡曲や童謡のダンス音楽で踊っております。中には歌いながら踊る人もあります。相手は女性ばかりで、私は女性のステップがわからないので家内(“わ”のメンバーではないが)と一緒にしております。「花の風」には10期中本さんも一緒に活動しております。

音楽を聞いて身体を動かすのはお年寄りに良いようで、始め「しんどい」と言っていた人でも踊っているうちにいきいきとして来て元気になって来られます。こちらもちょうどやりがいがあり、逆に元気をもらっております。



老いも感ぜずステップ軽く

コーロむつみ(混声コーラス)

園7-文 松岡 泰彦

グループ“わ”西区会の有志で作っている混声コーラスグループです。“わ”の西区会が結成されてから、個別の活動は行われているが、お互いに知らない人も多く、共同で活動することが、ほとんどない状況でした。3~4年前に、“わ”西区会でメンバーが互いに知るために、何か一緒に活動できることはないかという話が出て、コーラスグループが結成されました。月に2回渡辺成子先生のご指導でコーラスの練習をしております。せっかく練習しているから、何か社会に役立つこともやろうということで、デイサービスセンターの慰問や地域のイベントに出演したりしております。メンバーはコーロKSCの団員で

あるコーラス経験者もいますが、未経験の人もおり、第一目的が懇親ということで、和気あいあいと楽しんでおります。毎月第2・4土曜日に現在は学園西町の福祉センターで練習しております。



竹の台まつりに出演

その他、北公園の清掃整備、仲間農園の支援、竹の台小学校見回り隊への参加など、地域密着の各種活動をしています。また会員相互の親睦を図る行事もあります。お問い合わせ先：國分(TEL&FAX 078-992-7821)まで

グループ紹介

『滝谷ホームボランティアグループ』

堀内 昭(食文6)
私達のグループは、障害者の自立生活訓練を応援しています。このボランティアの始まりについては、「丘に拠って十年」グループわ 設立十周年記念誌に、宮城智子さん(音文2)が「グループホーム滝谷の歴史」で述べていますように、2001年の調理ボランティアから始まりました。翌年9月からは入寮者4人と生活指導員で生活が始まりました。同時に夜間の宿直の依頼があり、宮城さんからの呼びかけに応じ、グループわのメンバー10人程で週2回(水、木)の担当で始まりました。私達のお手伝いの内容は、夜7時過ぎに滝谷ホームに行き、生活指導員の方から入寮者の状況について引継ぎをして、翌朝6時の起床と、洗面、食事、それぞれの仕事への出発時間に間に合うように見守るのが我々の役目です。時には入寮者が風邪を引くとか体

調をくずす時もありますが、そのような時には、保護者の方やこの施設を運営している「ワークホーム緑友」の責任者に連絡し対応をお願いします。年に数回ですが、宿直の他に生活指導員の方が、急用・病気などの時に食事の世話の依頼があります。その時には、宮城さん他の女性の方をお願いします。また時には休日の見守りを依頼されることもあります。現在私達の宿直担当メンバーは7人で、第2金曜日と毎水曜日の月5回ほどの宿直を担当しています。他の日の宿直は大学生が担当しています。私達のメンバーも、当初から参加している人は半数ほどで、半数は新メンバーに入れ替わりました。これもグループが継続的な活動が出来る方策と思っています。

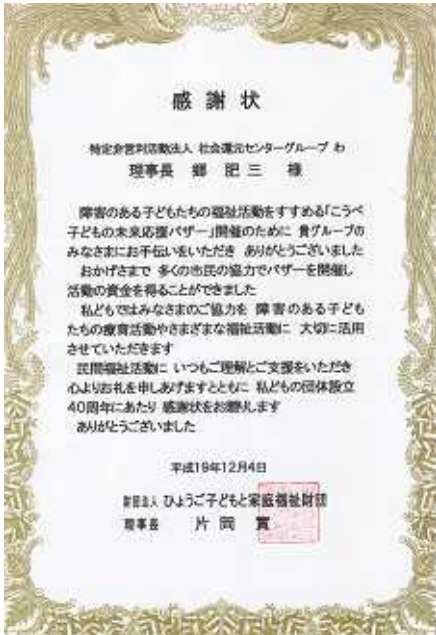
なお、施設の方から、担当日数追加の依頼を打診されました。是非みなさんの参加をおまちしております。

(連絡先：堀内 & Fax 592-9297)

福祉部会

『こへ子どもの未来応援バザー』
福祉部会長(福11)横井幸雄

ボランティア参加の皆様
有難うございました。



このバザーの協力に対して(財)ひょうご子どもと家庭福祉財団よりグループわに対して感謝状を頂きました。(上記に掲載)

このバザーは多くの神戸市民、企業より頂いた寄贈品を整理して、値段付け、梱包をして販売するものです。

バザーは11月2・3日の開催ですが、整理の為5日間を要するという大規模なものです。

要望人員160人に対し参加して頂いた方60人(延べ人数で116人)会員全体の参加率は5.2%、残念ですが期待に沿えませんでした。参加して頂いた方には過大なご負担をかけましたが、ご協力頂き感謝に堪えません。

バザーの結果を次のとおりご報告させていただきます。

来場者数 500名
売上げ 1,136,000円
今後ともボランティアへの参加にお力添えをよろしくお願い申し上げます。 以上

国際部会

2008年神戸国際交流フェア
国際部会長(国10)土井昭政

- 笑顔でつなごう世界と神戸
今年で12回目になる神戸国際交流フェアに、昨年度に引き続いて国際部会がリレートークと展示に参加します。

3月15日(土)神戸国際会館20階にある神戸国際協力交流センターで“語りあおう世界と神戸”をメインテーマに基調講演とリレートークの集いがあります。そして翌日の16日(日)には、ハーバーランド デュオドームとスペースシアターでデモンstrーション、展示、物品の販売などの催しが開催されます。

国際部会は、リレートークで“点字による生涯国際交流”をテーマに川岸氏が参加され、デュオドームでは国際部会の活動をポスターと写真で展示します。両日、皆様のご来場をお待ちしております。



グループわ 創立10周年
ボランティア活動標語
ボランティア やってよかった
あの笑顔 (加藤勇治作)

環境部会

『しあわせの村探鳥会』
環11-環 茅中英一



平成19年11月25日(日)小春日和のもと、『しあわせの村』主催の第2回探鳥会が開かれました。10時からの午前の部には車椅子5台を含め93名、13時30分からの午後の部には40名、合計133名の高齢者から子ども達まで幅広く参加して賑いました。探鳥会は、健康福祉ゾーンとして多くの市民が訪れることを願った同村の活動の一環で、わの本部から5名、「野鳥と自然観察会」から10名が参加して、支援しました。

探鳥コースは、芝生広場からピオトープを経由し、堂坊池に架かる橋に至る往復約2時間のコースで歩行しやすく、野鳥の種類も豊富な場所でした。紅葉のなか心地よい一日でした。

観察できた野鳥は、午前の部は22種類で池では空飛ぶ宝石といわれる「カワセミ」を長時間観察できラッキーでした。



また美しい姿の「ジョウビタキ」(オス)が長さ14cmの小さな体(次頁につづく)

(前頁から続く)

で遠くシベリアから越冬するために飛来した姿も参加者の目を楽しませました。午後の部で観察できた野鳥は 17 種で、マガモのつがい池で観察でき、冬の到来をうかがわせました。



ジョウビタキ

参加者には、昨年 5 月 わ「野鳥と自然観察会」が協力し、「しあわせの村」が作成した『バードウォッチングガイド』(小冊子 150 円)が配布され、子ども達には野鳥を呼ぶ「バードコール」が手渡され、興味深げに試していました。

当日の わ の支援は、西隈環境部長(環 7)の司会進行により、しあわせの村の畑中事業推進課長の主催者挨拶、「野鳥と自然観察会」の水島前代表(環 6)の双眼鏡の使い方や観察時の留意点の説明、観察できた野鳥の確認「鳥合せ」は新代表の茅中(環 11)が行い、その他のスタッフは受付や観察時の安全ガイド等に従事しました。

受付にはパネルで年間 79 種の野鳥が村内で観察できることや、村内に設置した巣箱から昨春ヤマガラやシジュウカラの雛 150 羽余が巣立ったことを展示しました。

参加者からは、珍しい「カワセミ」など様々な野鳥が身近で観察できて楽しかったとの声が多く聞かれ、また わ の活動についても質問があり、活動への理解が少し広まったのではないかと・・・そうであれば私たち支援者も嬉しい限りです。

文化部会

KSC 手話コーラス同好会
音楽グループ交流フェスタに参加
食 11 - 文 井上美津子

平成 19 年 12 月 2 日(日) 神戸生活創造センターに登録している、音楽を愛するグループの交流会がありました。琴・ハーモニカ・オカリナ・マンドリン・コーラスなど 14 グループが参加していました。シルバーカレッジからは、楽遊クラブ(銭太鼓)と私たちの手話コーラス同好会が出演いたしました。印象に残ったのは、メンバーの一人が製作した「バリオン」という、手のひらサイズの楽器での演奏でした。微妙な音の調節で奏でられる音楽は不思議な音色で心に響きました。

手話コーラス同好会も日頃のボランティア活動への取り組みなど紹介し、練習の成果を発表いたしました。手話コーラスという他にない音楽表現のため、皆さんと一緒にすることを心がけて、今年の大ヒット曲「千の風になって」・和製シャンソン「忘れな草をあなたに」を演じ、会場の皆さんからたくさんの拍手を頂きました。



他のグループの演奏を楽しみ、最後に「ふるさと」を会場の皆さんと合唱・合奏し、私たちは手話コーラスで参加し、音楽グループ交流フェスタを締めくくりました。

手話コーラス同好会では、難聴者協会などの主催する講座を受講し、手話への理解と技能向上の努力を続けている会員も増えてきました。

いきがい部会

第 1 回市民グランドゴルフ大会
理事 西田圭一

市民の健康増進策として、かねてからいきがい部会を中心に企画し、準備を進めて参りました「第 1 回市民健康増進グランドゴルフ大会」が去る 10 月 18 日しあわせの村球技場で開催されました。

最近急に人気の出てきたニューススポーツだけに 24 組 144 名もの多くの参加者があり、グランドは元気の歓声が終日響き渡り、大盛況でした。

絶好のゴルフ日和に恵まれ、皆さん夢中で球を追い、快い汗を流されました。



最終的に本大会には 33 組 200 名近い方の申し込みが殺到し、運営上 9 組 54 名の方に参加を断念していただくざるを得ない状況でした。参加者からは、来年も是非開催をとという厚い要望がありましたので、グループ わ としても市民の健康増進と仲間作りのために来年度も開催する方針です。

↓ 季節を感じさせる歌、懐かしい歌、童謡、歌謡曲などを準備し、今、流行の歌まで手話表現する曲も増えてきました。年に 1 度の「手話シャンソンコンサート」を觀賞し、手話表現の勉強につなげるように心がけています。

音楽フェスタへの参加は今回が初めてですが、皆さんへ手話コーラスを知っていただく良い機会でした。表現力の勉強は今後の課題です。

イベント開催予定表

詳しい内容は、グループわ事務局までお問合せ下さい。 743-8101

1・男のための食育講座

日時・Aコース 1/30、2/19、3/25
Bコース 1/31、3/6、3/26
Cコース 2/5、3/7、3/27

場所 各コースとも兵庫健康プラザ
費用 3,000円

2・日本と外国の保存食を作ってみよう、食べてみよう!

日時・2月17日(日)10:00~15:00
場所・神戸市シルバーカレッジ
費用・無料

対象・小学生と保護者

3・企業のエコ施設を訪ねよう!

わくわく、どきどきする体験を一杯しよう!

日時・3月8日(土)10:00~15:00
場所・灘浜サイエンススクエア
費用・無料

対象・小学生と保護者、児童館、こどもエコクラブ

4・親子であつまれ炭焼き体験塾とケナフ紙すき塾

日時・3月9日(日)10:00~15:00
場所・神戸市シルバーカレッジ
費用・無料

対象・小学生と保護者

5・ペタンク大会

日時・3月11日(火)10:00~15:00
場所・しあわせの村球技場
対象 一般神戸市民を公募

6・出前環境学習講座

日時・3月22日(土)10:00~15:00
場所・灘区民ホール
費用・無料

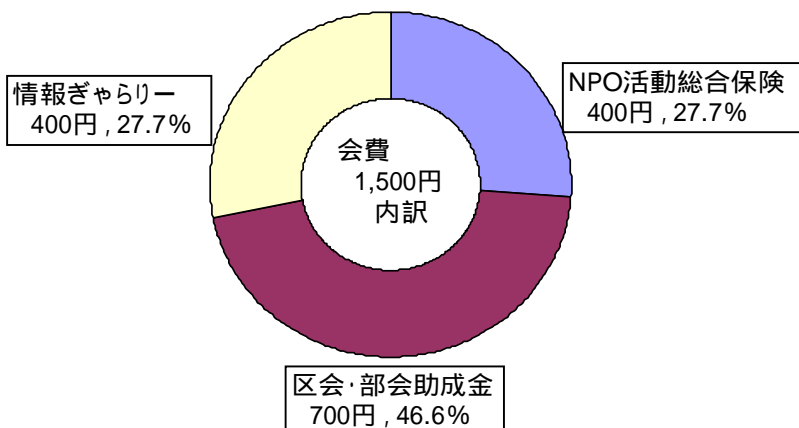
対象・小学生と保護者、児童館、こどもエコクラブ

7・シルバー男性調理実習

日時・3/25、4/1、4/8
場所・神戸市シルバーカレッジ
費用・4,000円

グループわ 創立10周年 ホランティア活動標語
経験と 知識が“わ”となり
他のために (飯井冨子作)

皆さんの年会費 1500円 は以下のように使われています



郷理事長が平成20年1月20日付で社会福祉に関係ある団体代表として神戸市社会福祉協議会評議員に選出されました。

神戸市シルバーカレッジ12期生

グループ学習合同発表会

日時 平成20年2月29日(金) 10:00~16:00
場所 KSCカレッジホール
プログラム 各コースで選考中
追って発表される

絵画・陶芸の卒業制作作品の展示
日時 平成20年2月25日(月)から3月18日(火)まで
10:00~16:00
なお最終日は12:00まで
場所 KSCふれあいホール

KSC同窓会主催 講演会
日時 平成20年2月7日(木) 13:00~15:30
場所 神戸市立王子動物園ホール
会費 無料
演題 ボルネオ島の自然環境、野生動物
「熱帯雨林の消失と地球温暖化」
講師 元神戸市立王子動物園園長 医学博士 権藤真禎氏

詳細については、KSC同窓会 山田(793-2325)海江田(791-9433)までお問い合わせください。

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

2007年『今年の漢字』は『偽』相次ぐ食品偽装問題、政界に多くの偽り、老舗にも偽装発覚、2008年は「看板に偽りなし」の安心できる社会になって欲しいと思った。新年早々、情報ギャラリーを印刷する用紙などに、大手製紙メーカーの再生紙の古紙配合率偽装が発覚して期待を裏切られた。

我々のボランティア活動は市民の皆さんから信頼され、感謝されるグループを目指しています。誠心誠意取組んで行こうではありませんか。

広報部では、皆様に楽しく読んで頂ける紙面づくりに、知恵を絞っているところで、皆さんのご意見を拝聴するためのアンケート調査をしようと考えております。

4月の情報ギャラリーと一緒に用紙を配布し、次号には新会員も増えるのでそれを反映したものにしていきたいと思っています。よろしくご協力ください。(MH)



神戸空港初日の出

会員どうしの助け合いネットワーク

西区、兵庫区に続き全区で“助け合いの輪”を広げましょう！

介護保険の対象にならないが、会員やその家族の方が健康上の理由でちょっとした支援や手助けがあればと願う時があります。そんな時、会員同士で助け合うシステムが「会員相互扶助制度」です。グループ わ では 3 年前から「相互扶助事業実施要綱」を定め、各区会毎に夫々の実情に合った「相互扶助のネットワークづくり」に取り組んでおります。先陣をきって西区会と兵庫区会が既にこの「会員相互扶助制度」をスタートさせました。

1. 制度実施に向けたこれまでの動き

H.16 年 7 月 会員相互扶助制度検討委員会発足

- 。「グループ わ は『再び学んで他のために』をモットーにボランティア活動を実践しているが、仲間が手助けを求めているなら他に助けを求める前に仲間同士で助け合うべきではないか」という声が以前から高まっていました。そんな折、第 5、第 6、第 7 回学園祭実行委員会からも「グループ わ 会員の相互扶助のために活用して欲しい。」と資金信託の申出があって、検討委員会が組織されました。

H.16 年 10 月 検討委員会で会員に「相互扶助制度」についてアンケート実施

- 。当制度で求めたい支援内容はなにか。 支援は有料、無料いずれがいいか（有料の場合いくら位か） 求められれば支援活動に参加できるか否かについて会員にアンケートを実施しました。182名から回答が集まりましたが、求めたい支援内容として 1.買物代行、買物介助 2.庭の手入れ、草引き、旅行時の水遣り 3.病院への付添介助、投薬の受領 4.炊事、洗濯、掃除 5.散歩、外出介助が上位5つでした。支援料については、有料としてもいいが500円以下が圧倒的多数でした。支援活動参加の可否については「協力できる」が回答者の63%程度にとどまりました。

H.17 年 2 月 H17 年度から制度具体化の取り組みが運営委員会で決定

- 。アンケート結果に基づき検討委員会が「相互扶助事業実施システムの構想」を纏め運営委員会に提案。H.17 年度から具体化する方針が了承されました。

H.17 年 5 月 第 2 回定期総会で当制度の検討経過が報告され、H17 年度計画に具体化への

取り組みが盛り込まれました承されました。

H.18年5月 第3回定期総会においてもH.18年度計画に具体化の継続取り組みを掲げ了承されました。

H.18年9月 西区会がトップをきって会員相互扶助制度を実施。

H.18年12月 兵庫区会が次いで会員相互扶助制度を実施。

H.19年5月 第4回定期総会でもH.19年度計画に継続取り組みが掲げられ了承されました。

2. 会員相互扶助制度の概要

◦この制度への取り組み（助け合いのネットワークづくり）には各区会毎に、それぞれの地区の実情に合ったやり方と各区会会員のコンセンサスが求められます。しかし各区バラバラ、思い思いの制度とならないよう「相互扶助事業実施要綱」（H.17年10月検討委員会で制定）を定め、これに基づき具体化することになっています。

◦この「実施要綱」に基づき本部と共同して制度を発足させた西区会の「会員相互扶助制度の概要」を参考までに次頁に掲載していますので参照ください。

3. これからの“助け合いのネットワーク”づくりについて

◦会員相互扶助制度の是非論を問うと、殆どの方が理想的には賛成です。しかし、実際に支援活動に参加するとなると協力できる方はかなり減り（H.17年度のアンケートでは60%程度）また困った時仲間に支援を求める方もそんなに多くはないかも知れません。

◦これから会員の高齢化は確実に進みます。日常生活面でSOSを発する方は今後ますます増大するでしょう。この制度に対するニーズはいずれの地区でも確実に、等しく増大するに違いありません。力を合わせ相互扶助の輪を全区に広げていきたいものです。

◦本部としても「相互扶助制度推進班(仮称)」を編成して各区会の相互扶助制度推進を全面的にサポートしていく方針です。制度推進について、質問、要望、アドバイス等がありましたら遠慮なく下記の者にご連絡ください。

本部相互扶助制度推進班(仮称)

チーフ 加藤 勇治（美工・10）

東灘区、須磨区	担当	増金 スミ子（福祉・11）
北区、灘区	担当	藤田 勝（福祉・11）
中央区、兵庫区、長田区	担当	長谷川 洸士（国際・11）
西区、垂水区	担当	米倉 和子（生環・11）

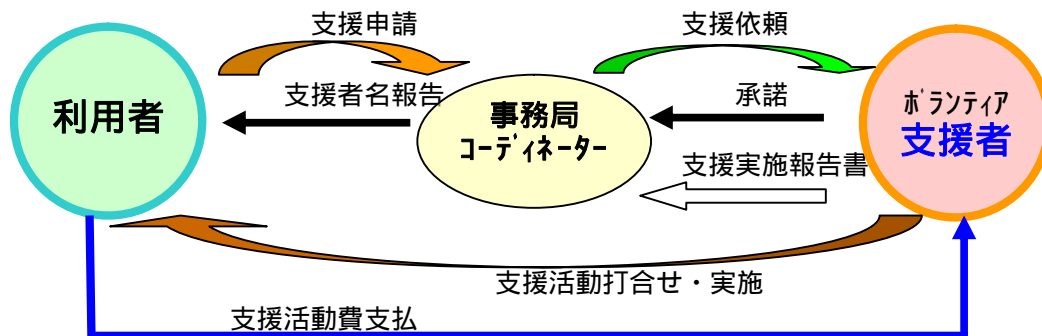
以上

西区会 相互扶助制度実施概要

この制度は、「わ」の会員が介護保険の対象になるまでの間に、体力の衰えや健康障害等の理由によって、くらしの様々な分野で困った時、相互扶助の精神で会員同士が助け合うシステムです。生活の一時的なごく限られた部分を私たちが持っている素晴らしいボランティア精神と行動力で相互に助け合いましょう。

西区会では以下の概念図のような仕組みでテスト的にスタートします。

【会員扶助制度の概要】



（支援者、支援作業の登録制） 毎年更新

支援者（支援が出来る人）は、支援可能作業を指定して事前登録する。

【支援作業】こんなこと こんな作業

マイカーによる移送（病院、買物、墓参、物品配送など）

買物、諸届けなどの代行。

庭の手入れ（花壇、植木、草抜きなど）。

日曜大工仕事、ペンキ塗装、水道修理、軽微な電機修理。

屋内清掃

屋外清掃、洗車。

犬の散歩。

散歩のお供

食事づくり

田畑の農作業

代筆、PCによる書類作成。

こどもの送迎

話し相手

学習相談・指導（パソコン等）

本、新聞などの代読

その他

（事務局（コーディネーター）の機能）

幹旋・調整部署（事務局＝コーディネーター）を設け、支援申請の受付、支援者への依頼等を一元的に管理、調整する。

利用実績マスタ（利用者：個人別 支援者：個人別）管理をおこなう。

実績データ管理や制度改善など、運営全般のコントロールを行う。

（利用者がすること）

支援を受けたい時は、支援申請書（注1）を事務局に出す。

支援を受けた時は1回500円の支援活動費および活動実費（交通費等）を支援者に支払う。

（支援者がすること）

支援が出来る人（支援者）は、事前に事務局に登録する。

支援作業区分を登録時に指定しておく。

支援活動を行ったときにはその都度「実施報告書」（注4）を事務局に提出する。

支援活動実施のたびに、1回500円の支援活動費および活動実費（交通費等）を利用者

から受け取り、領収書を発行する。

【西区会での実施要領】

会員の居住実態と支援活動の距離を考慮して、4つのブロックに区分して行います。利用者が属するブロックの支援者が支援することを基本とするが、適任者が見つからない時は、他のブロックの支援者が当たることもある。

第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック
押部谷地区	西神N T・南部	西神東部・西神南	池上、伊川谷、学園
北山台 富士見が丘 高雄台 美穂が丘 押部谷町 秋葉台 桜が丘東 桜が丘中 桜が丘西	狩場台 糺台 美賀多台 檜野台 春日台 西戸田 二ツ屋 王塚台	竹の台 井吹台東 井吹台西 上新地	池上 伊川谷町有瀬 伊川谷町別府 伊川谷町潤和 白水 玉津新方 大津和 南別府 学園東 学園西

事務局（コーディネーター）長は、三島隆夫氏（前西区会会長）、副は西区会会長に担っていただく。

支援活動費は1人1回（約2時間以内）当たり500円とします。4時間では1000円です。その他、活動に伴う実費（交通費、ガソリン代等）についても利用者が負担します。

支援できる方は、支援者・支援作業登録書（注5）により事務局に登録します。以降毎年5月に更新します。

支援申請は、指定の申請書（注1）に必要事項を記入して、事務局へFaxで申し込みます。緊急の場合は電話でも可としますが、後日申請書を事務局に提出します。

事務局は支援申請を受けて、最適と思われる支援者に、Tel、Fax、Eメール等で支援を依頼します。（注2）

依頼された支援者は、諾否をTel、Fax、Eメール等で事務局に連絡します。

支援者は、（必要な時は事前打合せを行う）指示された日時に支援活動を行い、支援活動費及び活動実費を収受し、領収書（注3）を発行します。実施報告書（注4）を事務局（コーディネーター）に提出します。

事務局（コーディネーター）は、幹事会に対して、相互扶助制度の活動実施状況を報告します。

西区会は毎月、相互扶助制度の活動実施状況を わ本部に報告します。

事務局（コーディネーター）は、毎年、支援者の支援作業区分登録を更新します。